

数学イノベーションに必要な人材の育成・活用について(概念図)

必要な人材の育成方策

必要な人材を育成するにはどのような方策が必要か？

- **育成すべき人材像**は何か？
- どのような**能力や知識・経験**を、どのような**方法**(教育か実践か)で、どのような**タイミング**で身につけさせるのがよいか？

現状の取組

中学・高校

- 数学が社会に応用されている事例の紹介【戦略的創造研究推進事業・数学領域・数学キャンバン等】
- 中・高の数学教員への情報の提供

大学(学部)

数学専攻

- 数学の教育
- 諸科学との接点の拡大(異分野交流勉強会など)【各大学等】
- 「使える数学」の教育【明治大】

諸科学専攻

- 数学との接点拡大

大学院

数学専攻

- 数学の教育
- スタディグループ※参加【九大・東大等】
- 諸科学・産業との連携ワークショップへの参加【各大学等】
- 企業への長期インターンシップ【九大】
- 企業と学生の交流会【日本数学会主催】

諸科学専攻

- 数学との接点拡大

評価

諸科学・産業との連携への評価

- 表彰
- 雑誌
- 人事

必育成すべき人材像

どのような人材を育成するか？
(これまでは、**B**、**C**が中心)

- A.** 数学を活用する研究者・技術者(大学等、企業)
~「数学を使う」人材
 1. 数学コーディネーター
 2. 特定分野数理人材
 3. 企業数理人材
- B.** 数学の研究者(大学等)
~「数学を作る」人材
- C.** 数学教員(高校等)
~「数学を教える」人材

※スタディグループ:企業の提示した問題の解決策について数学専攻学生が集中的に議論する集会

数学イノベーションに必要な人材の育成・活用について(概念図)

これらの人材に必要な能力

- ・広い世界への関心、好奇心
- ・分野跳躍力、チーム力
- ・必要な数学の知識・能力
- ・データを扱う能力、統計

